



## 2009年4月 石原社長 定例記者会見概要

4月22日午後1時より、石原社長による定例記者会見が放送センター20階、役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

### <編成関連>

4月編成が始まってまだ3週間余りだが、全日、G帯、P帯共に厳しい状況だ。第1週(3月30日～4月5日)は、「ハイパーバラエティウィーク」と題して強力なソフトをラインナップしG帯・P帯でトップを獲得、幸先の良いスタートとなったが、2週目以降は他局の攻勢もあり苦戦した。4月編成の目玉である『総力報道! THE NEWS』は、期末期首の激戦期ということもあり伸びていない。しかし、JNN系列の全体状況を見ると、2ケタの視聴率が出ている局もあるので手ごたえを感じている。目先の視聴率に振り回されずにしっかりした内容の報道番組を粘り強くやってほしいと現場には伝えている。また大幅な番組の枠移行を行ったので、レギュラー枠の認知度を高めていきたい。4月期のドラマがスタート、初回で15%を超える番組はなかったが、どのドラマも内容的には評価が高く今後に期待している。

かつてない注目を集めた「マスターズ」だが、石川遼選手の活躍や、決勝ラウンドで片山選手が単独4位と大健闘した結果、4日間の平均視聴率は早朝にもかかわらず8.4%と過去最高を記録した。「マスターズ」はTBSのブランドイメージに貢献している。選手や関係者の皆さまには大変感謝している。横浜ベイスターズは、初戦から連敗した時は暗い気持ちになったが、その後持ち直して現在5勝10敗だ。村田(修一)選手も傷が癒え今日から復帰する予定。軸が揃うということで、今後に期待している。

### <営業概況>

昨年秋のリーマンショック以来、世界同時不況が続いており、タイムセールスは厳しい状況だ。4月以降も前年度割れが続いている。スポットの方も依然厳しい状況が続いているが、下期以降に明るい材料が出てくることを期待している。

石川(康喜)常務: 東京地区ではスポット投下量の対前年度割れという厳しい状況が続いているが、一方で『キズナ食堂』や『EXH』などの1社提供枠の番組もスタートしタイム売上に貢献した。今後も8月15日からの「世界陸上」をはじめとして積極的な単発セールスを展開していきたい。スポットセールスでは付加価値を高めるセールスで今後も力強く売っていきたい。いずれにせよスポットはレギュラー番組の成否が鍵を握っているため、今後の視聴率アップに期待して、売上のシェアアップを図っていきたい。

### <赤坂サカス>

3月20日から始まった赤坂サカスの1周年イベント「花 Sacas」が4月19日に終了した。100本の桜と40種類1万2千本の花、メリーゴーラウンドや周遊トレイン、人気番組のブース等を展開し、31日間で108万5千人の方々にお越し頂いた。この一年で赤坂サカスが多くの人々に愛される場所になり、昨年3月20日のオープンから今週末で来場者が1000万

人を越える見通しだ。今後も赤坂サカスが文化発信基地として、さらに親しまれるよう力を入れていきたい。ゴールデンウィークには、5月4日の「TBSエコの日」を中心に、4月29日からエコイベントを開催する。今年は新しいエコキャンペーンメッセージである『あしたの地球(アース)』と題して、赤坂サカスで緑や自然に触れていただくイベントになっているので期待している。

#### < 楽天関連 > 武田取締役(TBSホールディングス)

3月31日に楽天から保有株式の買取請求が出た。詳細については市場に与える影響が極めて大きいので、回答は控えさせていただきたい。

#### < 事業関連 >

映画は「クローズZERO II」が4月20日(月)までの公開10日間で、動員105万人、興行収入13億8900万円を記録し、前作を超える好調なスタートを切った。この勢いで興収30億円を大きく超える大ヒット作になることを期待している。『イブニング・ファイブ』の企画から誕生した「余命1ヶ月の花嫁」は5月9日(土)から公開。「JNN50周年企画」としてJNN系列局が全局出資している。映画公開に合わせて5月5日から10日まで、放送センター1階で「ピンクリボン展」を行う。また、映画やイベント期間中BLITZで行われる、JUJU(主題歌担当)のコンサートの売り上げの一部はピンクリボン活動に寄付する。いよいよ5月30日(土)からは「ROOKIES～卒業～」も始まる。昨年大人気となったドラマの映画化でストーリーも完結する。これら5月の2作品には大きな成果を期待している。

有料配信サービス「TBS オンデマンド」では、4月29日(水・祝)より過去に地上波で大ヒットしたドラマ『高校教師』『オレンジデイズ』『真夏のメリークリスマス』の配信を開始する。毎月数タイトルを追加し、最終的にはドラマ以外も含めて常時50～100タイトル(500話～1000話)規模の配信を予定している。

#### < TBS R&C > 余田社長

1986年4月6日(月)にスタートした『大沢悠里のゆうゆうワイド』が4/28(火)に放送6千回を迎える。記念すべきこの日の放送は、浅草生まれ・浅草育ちの大沢悠里の思い出の場所、浅草演芸ホールから公開生放送を行う。番組パートナー総出演のほか、豪華ゲストも出演予定だ。

4月1日付でTBS R&Cの組織変更を行い、デジタルラジオ事業の主たる業務を株式会社東京放送ホールディングスに移管した。VHF-LOW帯移動受信用地上放送(マルチメディア放送)は、今後「東京放送ホールディングス」の下で実現を目指すことになった。今年もTBSラジオ・TBSテレビ合同で、市民による日本最大級の環境イベント「アースデイ東京2009」に出展した。14万人の方が来場し、ラジオ・テレビで会場から生中継や、TBSブースでは、ラジオ・テレビの環境活動をもとにしたクイズラリーや、オリジナルエコグッズ販売等を行った。

以上